

よ さ の

水・緑・空

笑顔がやぐ 未来あいのまち



第35号

2015年

2月10日発行

議会だより

Yosano Town Council
Report



主な記事

新年あいさつ(議長)	2P
クローズアップ(機構改革)	3P
一般会計補正(4号)	7P
委員会活動報告	13P
一般質問	14P

12月
定例
議会

クローズアップ

機構改革 ～野田川庁舎・本館廃館～

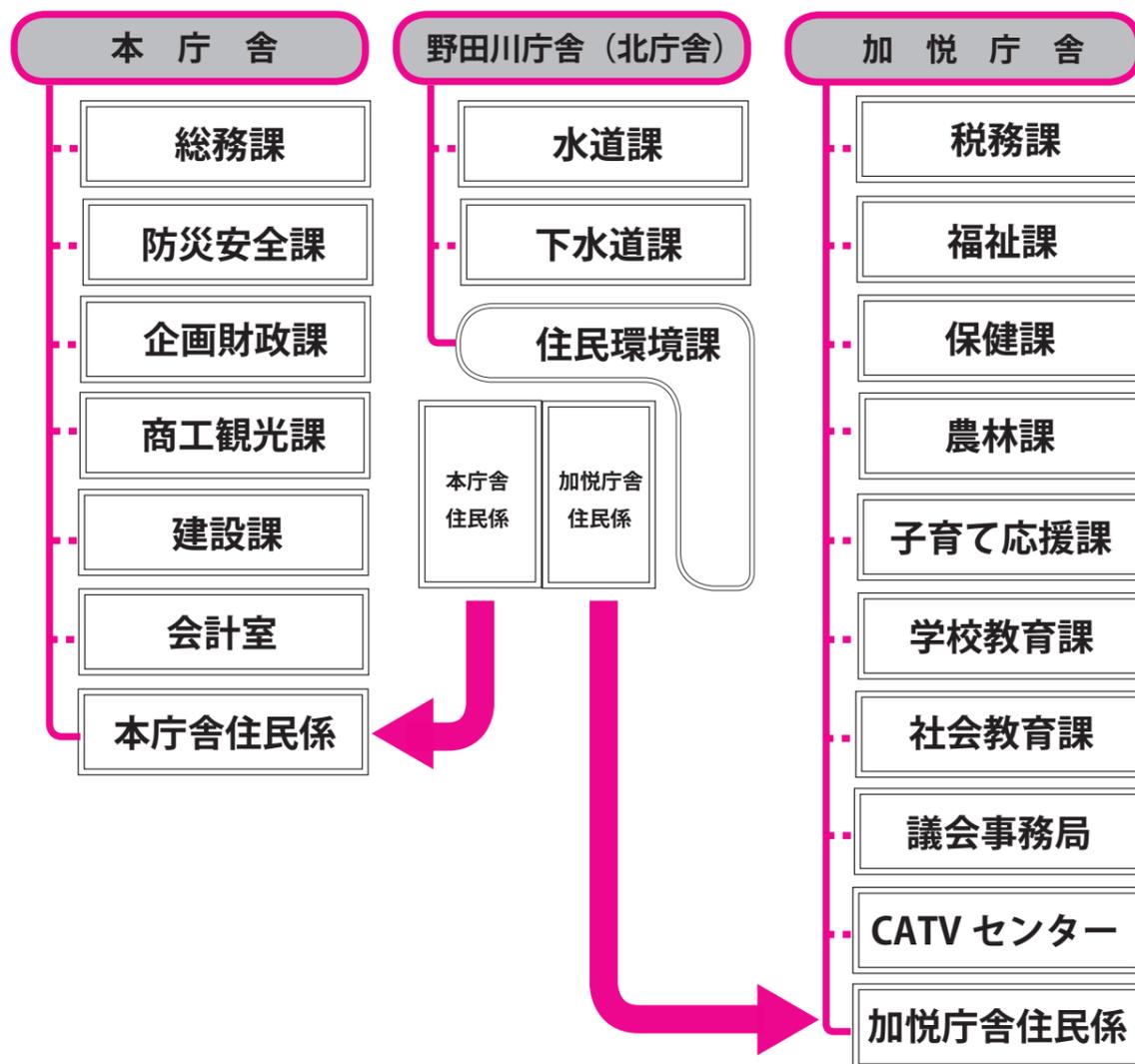
新設する課等

- ◎防災安全課
- ◎子育て応援課
- ◎CATVセンター

廃止する課等

- ◎岩滝地域振興課
- ◎野田川地域振興課
- ◎加悦地域振興課

機構改革後の配置イメージ



迎春

～信頼される議会を目指して～



新年のあいさつ



議長
今田 博文

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、ご家族お揃いで新しい年をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。さて、昨年は町議会議員選挙があり、16人が当選させていただきました。与謝野町議会3期目がスタート致しました。

3年前に議会基本条例を制定してから、議会改革の取り組みを進めておりますが、まだ道半ばでございます。議員間討議の推進、政策提言能力の向上、広聴・広報の充実など課題は多くあります。

首長と議員は、住民の直接選挙で選ぶ二元代表制であり、ともに住民を代表しています。議会としては、緊張関係を保ちながら対峙していくことが必要であり、何よりも住民の皆さんに信頼される議会を築き上げることが、私たちの大きな責務であります。

今、人口減少の問題が大きくクローズアップされています。東大名誉教授・大森彌氏は、「この人口問題を成し遂げるには半世紀はかかる。そこで、将来を見据えて、人口ビジョンをつくるのが重要になってくる。そして、閉塞社会になると必ず道州制の話が出てくるので、そのために地方創生をしっかりやり抜いてください。自分達の将来は自分で決めて下さい。」とエールを送られています。私達にはしっかりと足もとを見つめて、対処していくことが求められています。

結びに町議会に対しまして、旧年に倍しましてのご支援・ご協力を賜りますよう、節にお願ひ申し上げますとともに、今年一年が皆さまにとりまして、素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつと致します。



条例

機構改革等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

住民サービス維持向上

和田裕之

問 26年度から国では、合併した市町村を応援するために支所数に応じ、地方交付税を加算する方針とした。国も支所機能は住民サービスの維持向上、コミュニティや災害

企画財政課長 その点も十分踏まえて検討したい。



更なるサービスの向上に向けて



総合庁舎の将来像は

協働のまちづくりは

伊藤幸男

問 自治区や住民の窓口は地域振興課だった。協働のまちづくり担当は。企画財政課長 地域振興課が廃止となり、その役割を担うのが住民係。総務課長 協働のまちづくりは全課の課題となる。

総合庁舎の将来像は

塩見 晋

問 統合の最終目標を示しての機構改革でなければならぬと思うが。町長 基本的には与謝野町庁舎統合検討委員会の答申に沿っている。問 答申にある、「現状のままとし、将来的に町の中心地に新庁舎を建設する」との発言がない。町長 総合庁舎化に向けて

の検討は、任期のなかで提案をしていくとの考えを表明している。問 それでは遅い。答申に向けて行動が必要である。新庁舎建設に向けて基金の創設を提案する。町長 先の展望については、まだ検討をしていかなければならないが、提案は重く受け止めておく。



新しい住民係へ移行

原案に対する賛成討論

有吉 正

原案に対して修正案が提案されたが、積極的防災体制、総合的一体的な子育ての応援、行政情報の発信力の強化、旧野田川庁舎の廃止、区長会に理解を得ていることを併せ、原案に賛成する。

機構改革等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定に対する修正動議 (議案第103号)

- 発議者 安達種雄
- 発議者 小牧義昭
- 発議者 渡邊貫治
- 発議者 勢旗 毅
- 発議者 多田正成
- 発議者 江原英樹

発議者 『3課減(各地域振興課・課長)3課増(防災安全課・子育て応援課・CATVセンター・課長)の頭数合せとされ、我々が考える機構改革は、将来のランドデザインをベースに経営概念を基盤とした組織であり、小手先のものではない』ことから修正案を提案したものである。

行政コスト面(財政効果) 町民サービス(受益効果)を基礎とし、野田川庁舎本館解体、課の移動による人事異動とその予算は認められた。しかし、当町は、3つの庁舎を有

提出者への質問

修正案の趣旨は

高岡伸明

問 反対の理由は、業務内容に変化がないからか。提案者 否定はしていない。課としての認識とし

『修正案否決』

することから、行政コストは必要以上にかかり財政運営は、非常に厳しい。行政コストを削減し、町民へのサービス維持向上を展開する機構が、以前より求められてきた。現在、行政が担っている施設管理や窓口業務等々、民間へ移行するなど抜本的改革を要求するものである。

伊藤幸男

で、独立性・専門性において理解ができない。あくまでも修正案だ。問 機構改革に問題がなければ、進めるべきではないか。提案者 条例の提案をしているわけではない、条文の削除をもとめた。課という認識が、そこに至らなかった。

なぜ公開しなかったか 問 なぜ全議員に事前公開し、修正案の合意を得る努力をしなかったのか。提案者 新人で議会のことが理解できなかった。問 修正案を出しながら、全協や議案でもなぜ質疑もなかったのか。提案者 6月議会以降、その都度意見具申している。

修正案に対する賛成討論

多田 正成

議案第103号に対し修正案に賛成討論を致します。今回の機構改革は野田川庁舎の老朽化による廃庁計画によるもので、今当町に課せられた行政改革答申項目の財政の健全化・資産の有効活用・事務事業の見直し・効率的、効果的な組織運営と職員数などの適正化・自助、共助の促進・住民参画のまちづくりと行政サービスの向上・疲弊する町の活性化をどう図るのか。基本的な行政改革と新たな町づくりが見えない。真の機構改革とは言い難い、よって修正案に対し賛成討論とする。

条例

与謝野町保育の必要性の認定に関する条例

保育の必要性の認定

塩見 晋

問 幼保一元化の認定子ども園は、1〜3号の認定が必要になる。家庭保育の有無にかかわらず入所できると聞いていたが、**福祉課長** 保護者の就労が月48時間以上でないとい保育の必要性の認定がでない。1号認定（幼稚園）のサービスは受けられる。

町道路線の廃止と認定

町道大門線の早期着工

有吉 正

問 岩屋川線の福祉の里側を通る線が廃止され、河守団地の横を通る今の線が認定されている。岩屋川線も完成間近だ。町道大門線の着工を。

町長 メリット・デメリット併せ本格的に調査を始める。

与謝野町職員の給与に関する条例の一部改正について

◎民間給与との較差の是正について

・民間給与との較差（0.27%、1090円）を是正するため、世代間の給与配分の観点から若年層に重点を置きながら、俸給表の水準を引上げ、1級の初任給を2000円引上げ平均0.3%の改定率になる。

・通勤手当は使用距離（5km以上）の区分に応じ、100円から7100円までの幅で引上げる。

人権擁護委員の推薦について

明石笑佐子氏の任期満了となりました。長い間大変ご苦勞様でした。後任として、土田清司氏が推薦されました。

橋梁補修工事

◎三河内大橋 嘉久屋橋 鳴橋 滝川橋

契約相手方 酒井工業株式会社（大阪市）
請負額 5,298万円（消費税含）
工事期間 平成27年2月28日 完了

災害復旧工事

◎台風11号豪雨災害

工事内容 谷垣農地（1箇所1工区）

追加議案

国保条例の一部改正

- ・出産育児一時金（27年1月1日 改正）
現行39万円 ↓40.4万円 支給額
- ・産科医療補償制度掛金（27年1月1日 改正）
現行3万円 ↓1.6万円 支給額
- ・産科医療補償制度加入医療機関で出産
支給額 現行42万円 ↓42万円
- ・産科医療補償制度未加入医療機関で出産
支給額 現行39万円 ↓40.4万円

阿蘇霊照苑の指定管理

- ・指定管理者 株式会社セレモニーマつた
- ・指定期間 27年4月1日〜32年3月31日（5年間）
- ・施設の事業内容
墓地・埋葬などに関する法律及び与謝野町火葬場条例に基づき、火葬場の管理運営を行なう。

高額な福祉費補正

安達種雄

問 障害福祉費、自立支援給付費で5370万円が予算化されているが、毎年この時期補正で対応しているのか。

福祉課長 障害福祉サービス事業で、ホームヘルプサービスとか、放課後児童預りデーなどの費用で、毎年当初見込みを立てるが、サービスが普及しているが、サービスが普及し利用者が年々増加し、毎年この時期当初予算を上回ることが見込まれる。

問 利用者の増加は制度の浸透なのか。

福祉課長 当初予算を組むのが12月なので11月の実績に基づき予算化する。昨年の11月の利用者は452人、今年11月は506人と増えている。近年、相談支援事業に力を入れていて、従来のサービスを受けて良いのか判断がなかった。対象者が内容を認識し、サービスを受けやすくなり増えてきた。

温暖化対策事業とは

高岡伸明



設置場所

問 どのような事業か。
住民環境課長 27年度中に、府が行う緊急時電力確保事業で太陽光パネル設置事業である。

住民環境課長 補助金の関係もあり、わくばる一カ所と考えている。
副町長 将来的計画はあるか。
27年度中ということでは、一カ所だが、財源措置を見ながら分散することは必要だ。

問 わくばる以外の設置計画はあるのか。
住民環境課長 町の中心であること、平地の面積が確保できる。



福祉の向上

平成26年度 12月定例会 一般会計補正第4号

下山田井堰

渡邊貫治

問 下山田井堰受益者2戸、受益面積13、4haに対する水利権はどのようになっているのか。

農林課長 下山田井堰については水利権の使用の占用が、現在取れていない。構造物の設置の占用

もできていない。京都府の野田川河川改修でされてきたなかで、占用の手続が取られないまま引き継いだ。今回、調査、



望まれる新設道路

道路新設改良事業

多田正成

問 当町の中央道は未完成的のまま、残土置き場がせめて岩屋川堤防まで延長すれば、農家の方が便利に利用できるのか。

建設課長 中央道の先端に田があり当町所有か調べないと返事ができない。

問 堤防までは買収されていると聞くと、残土を捨てるなら、その残土で堤防まで埋めれば道路が周遊でき便利にいける。

又、その横に鉄骨橋があり、町道橋と聞くと鉄板が腐食し通れない。

建設課長 承知をしてい

る。大事な箇所から順に整備する。

問 その先の四阿（あずまや）や岩屋川堤防など、どこが管理するのか。

建設課長 町の管理だが、いたずらがひどいため、故意に維持管理をしていない状況である。

問 現在雑草が茂り周囲から見えない。若者の教育上の問題もあり不必要なら撤去も考えるべき。

建設課長 道路のこと、橋のこと、四阿のことなど周辺を合わせ考える。

力が入らない委託販売

勢旗 毅

建議をどう生かす

問 大阪堺市の山之口商店街に今年も出店されているが、100万円もの大きな減額になった理由は。

商工観光課長 事業の取り組みを見直した結果減額補正とした。

問 これまでの委託して売りに行く方式ではなく、生産者が、日常的に扱っている人が、出向いて販売されることでないと、効果が上がらないことを指摘してきた。これはタングフロントエリアに委託しているのだが、この事業に観光協会も補助金を出しているが。

商工観光課長 観光協会の事業のなかに、情報発信の取り組みもあり支出している。

町長 トップセールスがどのようなものかは聞いていなかったが、ブランド戦略会議でも議論になっている。

農林課長 既に設置してから10年以上経っていることから、設備を含んで内部で検討している。

問 この建議書では、豆っこの販売戦略としてのトップセールスの要請も町長に出ているが。

豆っこ肥料増強拡大する

小牧義昭

問 安定品質保証の生産がなされているか。

農林課長 毎年品質検査を実施しており、間違いない。生産調整もある。

問 有機肥料と立命館大学と共同研究してきた土壌診断（ソフィックス）との関連性は。

農林課長 京都府・大学連携で共に事業実施に取組み、与謝野町農業施策の6次産業化の基盤として施設増強拡大していく。

田尻線災害指定受ける

問 有機肥料製造の拡大増強の農業施策に対し、インフラの田尻線道路の補修は。

建設課長 京都府の災害指定を受けた。今年度中に災害箇所修復は行う。

問 上道においても同症状が発生している。農業政策推進も合わせ改善対策を求める。

農林課長 何らかの方法を見出したい。



ネットの安定供給を

ネット環境安定向上を

和田裕之

問 NTTによる光ファイバー架線工事が始まり、超高速な光ネット回線の提供が始まる。ユーザーの選択肢が増え、KYT

では、更なる安定且つツアービスの向上を図る必要があるが。

図書館活用した教育を

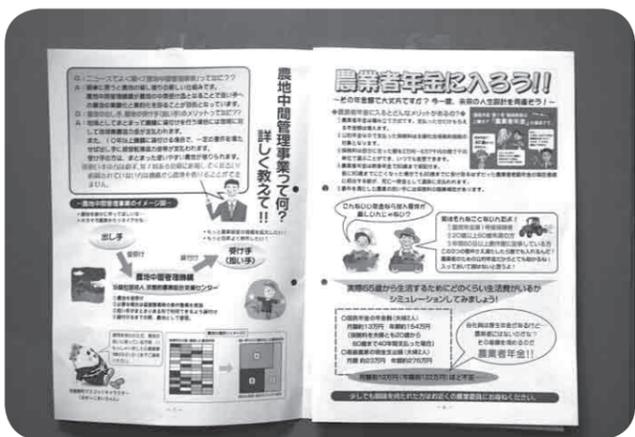
伊藤幸男

問 図書館の司書を活用して学校教育を進め、教育効果を挙げている自治体があるが、本町は。

教育推進課長 学校、図書館で、今後更なる連携を進めます。



肥料が足りない



農地管理に向け

農地中間管理機構

有吉 正

クールビズについて

問 農地中間管理事業の推進に関する法律では、農地の整備・維持管理まで謳っている。この事業に期待していたが現状は。

農林課長 本年度から始まったが、これまでにも変わらない。

問 有国の要人の会見では上着を着てネクタイなしをよく見るが、ネクタイをしなくて、クールビズと誤解されるのではないか。広報しては

住民環境課長 検討する。

10月臨時会

第60回・10月臨時議会（平成26年）

10月臨時会は10月14日～15日の2日間開催し、新たな議案を審議した。

提案議案は、専決処分で報告2件・契約1件を審議した。

契約金額 2,320,920,000円
 契約相手方 戸田・安田特定建設工事共同企業体
 工期 29年3月31日完成

与謝野町立加悦中学校 改築工事請負契約の 締結について

◎江陽中学校体育館改修工事請負契約の変更
 損害額↓金72、360円
 請負額の変更前 47、496千円
 請負額の変更後 48、047千円

◎職員事故

概要
 公用車を方向転換のため後進したところ、相手方所有の道路反射板に衝突したものの。

専決処分

賛成討論

小牧 義昭

反対討論

渡邊 貫治

加悦中建設は、子供たち・町民に、勉強・居住環境空間に新風を呼び込む施設だと期待します。少子高齢化の進行により子供の人数も減少傾向で、中学校統廃合施策も眼下にあり、財政逼迫と町民の皆様へのご負担を考えると建設容認に苦渋の判断を迫られました。建築は、子供のみの視点にあらず、まちづくり全体の事業でもあります。しかし、町長の決断は、併せて早期に産業振興や子育て政策・人口問題に取り組み姿勢を受け止めました。よって、行政当局の全ての事業実施に向けたスピード感溢れる決断と実行を期待し賛成討論と致します。

与謝野町の財政からして、加悦中学校改修費は大きすぎる。私は加悦高等学校との一体化も提案した。中高一貫校である。今後生活に欠かせないゴミ処理場、認定こども園などの施策がつづく。そのなかでの水道料金値上げなどとりざされていく。中学校統廃合所も決める。当初の17・5億を超えての認定はできない。よって反対する。



火葬場の予約方法

阿蘇霊照苑・指定管理者の指定
 和田裕之
 阿蘇霊照苑の予約方法
 公共施設のネットでの予約を実施している自治体は多数あるが、火葬場をネット予約すること自体に違和感があり、全国でも余りない。電話で予約される方もあり、課長が答弁したネット予約のみにするのは問題だ。副町長 電話での受付をそのまま継続する。

12月定例会 賛否一覧

賛否の分かれた議案のみ掲載

○印は賛成 ×印は反対

(議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案成否を決定します)

議案	議員名		高岡 伸明	和田 裕之	小牧 義昭	渡邊 貫治	安達 種雄	江原 英樹	伊藤 幸男	藤田 史郎	宮崎 有平	塩見 晋	河邊 新太郎	有吉 正	家城 功	勢籬 毅	多田 正成	今田 博文
	賛成	反対																
機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	9	6	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	-
機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定に対する修正動議	7	8	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	-
与謝野町立阿蘇霊照苑の指定管理者について	12	3	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-
子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための教育予算増額、教育諸条件の整備・充実を求める請願書	3	12	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	-

意見書

手話言語条例法（仮称）の早期制定を求める意見書

提出者：総務文教厚生常任委員会
委員長 家城功

手話が音声と対等な言語である事を国民に広め、手話を言語として普及研究できる環境整備に向けた具体的な施策を行っていくことが必要であるし、更には、聞こえの障害を持つ子供たちが手話を見につけ、手話で学べ、自由に手話が使え環境整備も必要となることから、国として法整備が必要であると考えられる。

全員賛成で可決

地方自治法第99条の規定により意見書を下記に提出する。
衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・文部科学大臣・厚生労働大臣・内閣官房長官

請願書

こどもたちにゆきとどいた教育をすすめるための教育予算増額、教育諸条件の整備・充実を求める請願書

請願者：代表者 上山昭司

- 1 豊かな学校教育を進めていくために学校教育に関する予算を増額するとともに、直接子どもにかかわる分野をより充実させてください。
- 2 児童生徒が使用する教室の空調設備の設置を急いでください。

賛成3 反対12で否決

- 否決理由
- 請願趣旨と請願事項に整合性がない。
 - 学校関係予算の増額は十分な予算とは言えないが教育予算は一定確保されている。
 - 学校の設備整備状況は充実した教育環境の確保に向けて委員会として調査を行なう。

請願書に対する賛成討論

高岡 仲明

地域経済が長引く不況の下で「子どもの貧困」が社会の大問題に。府下で最下位クラスの住民所得の本町では特に、保護者が教育費負担に心を痛めている。その主旨からこの請願は出されたもの。総務委員会では「願意は解るが、文面が不十分」「資料がない」などと意見が出て、伊藤委員が「請願人呼び、資料を求めるべき」と提案したが認められず、不採択となった。これは、町議会基本条例の「住民からの請願等を政策と位置づける」という主旨に反するもの。請願に賛成する。

委員会活動報告

総務 総務文教厚生 常任委員会

委員長 家城 功

民間委託への取り組み

視察先 愛知県高浜市
日時 平成26年11月10日

住民ニーズの多様化に伴い、行政サービスの民間移行を図るために、派遣会社を設立し運営を行っている。主な業務の内容は、役場窓口や公共施設等の管理や運営など多岐に渡っている。行政の経費削減と市民が行政サービスの一端を担うことで、行政運営についての理解も得る最先端の取り組みを進めている。



(高浜市役所 総務文教厚生常任委員会)

高齢者生きがい町づくり

視察先 滋賀県多賀町
日時 平成26年11月11日

当町と同じく高齢化率が進むなかで、高齢者の生きがいを町づくりに活かす取り組みを進めている。空き家を俳句や習字、手芸など各趣味の作品展示や販売、また飲食店や商品販売なども地域高齢者が集い運営をしており、地域コミュニティと町づくりの拠点としてうまく活用されている。

産建 産業建設環境 常任委員会

委員長 塩見 晋

南但ごみ処理整備事業

視察先 南但クリーンセンター
日時 平成26年10月27日

南但クリーンセンターは宮津・与謝環境組合が、宮津市須津に計画している、新しいごみ焼却施設と同じコンバインド方式を採用し、25年度より稼働しています。水分を含んだごみをバイオマス設備でメタンガスを発生させ、ガスエンジンで発電をします。発電した電力の80%は売電で月間500万円程になっています。一方、乾いているごみは熱回収設備で焼却します。この方式を高効率率原燃料回収施設と呼びます。多様化するごみ問題に対処すべく

特産品のゆずのブランド化による村おこし

視察先 馬路村役場
馬路村農協
日時 平成26年10月20日

馬路村は明治22年の合併で現在の村が誕生。平成の合併で住民の反対により村が残ることになった。人口945人の山村です。村内にある「ゆず・魚梁瀬杉」の6次産業化を進めて、村を丸ごと売り出す戦略で、通信販売を主力に全国展開を図って元気な村づくりを進めています。交流人口の拡大策では年間5万5000人が村を訪れている。

上治堂司村長一人の対応で熱心なお話に、研修時間もオーバーした。

広報 議会広報 特別委員会

委員長 和田 裕之

議会だよりの編集方法について

視察先 京都新聞社（京都市）
日時 平成26年10月30日

議会だより編集のポイントを指導頂いた。①情報発信だけでなく、作る人と読む人の信頼関係が大切②記事の重要性を再確認する。正確性・ニュース性・簡潔性の3つの原則が大切③見出しが最も重要。簡潔・正確・感動で、12文字が適当。④主題



(勝浦町議会 広報特別委員会)

を明確に。結果・経過・捕捉の順番が適当。専門性の高い内容など、記者は常に勉強されている。研修で多くを学ぶことができた。尚、翌日の京都新聞へ視察の様子を掲載いただいた。

視察先 勝浦町議会・広報委員会（徳島県）
日時 平成26年10月31日

勝浦町議会では、議会だより作成で、特徴的な点は、「一般質問の記事がメインで、1人当たり、1ページを使うこと」によって9割の議員が発言するようになった」とのことだった。その他、町民の意見を聞く「議会だよりモニター制度」を導入されたり、当委員会でも今後検討していく必要がある。

一般質問

ここが聞きたい

「一般質問」は定例会のみ行われるもので、行政全般にわたる議員主導による質問であるが、質問を受ける執行機関も共に十分な準備が必要のため事前通告制となっています。「質疑」は提案された議案に対して質問点を問いただすことです。

※発言順に掲載しています。

Q 災害対策の計画は万全を求める

A より良い改善を図りながら進めていく



改修進む宮野橋

問 今回から避難所には職員が配置されているが、女性職員が一人で待機しているなど問題や課題は多い。今一度見直しや改善が早急に必要では。

町長 計画の更なる充実を図るために見直しや、改善も含め進めていく。

問 各地区との連携を強化し、統一の体制づくりを。

町長 災害対策は各地区の協力が不可欠。しっかりと話し合



家城 功 議員

いをする。

問 災害対策は被害を最小限に抑えることが大前提。万全な体制で。

町長 今後もより良い改善を図りながら取り組みを進めていく。

ご当地ナンバーを

問 この事業は町のPR、ブランド力向上、町の愛着心にも有

効で意義のある事業。また町長の政策理念にも合致し取り組みに向けての再検討を。

町長 費用の面からみても難しい状況ではあるが、今後の検討課題の一つとして考えたい。

問 町政十周年記念や全国権サミット、俳句大会など、枚数や期間を限定するアイデアを出し合い町のPRに努めるべき。

町長 町のPRの手段は他にも色々。さまざま模案のなかで提案についても前向きに検討する。

Q 消費税は低所得者ほど高くなる

A 不平等と言えない。総合的観点からの課税だ



消費税UPに不安

問 消費税は、収入により負担格差が出る。平等な負担と言えるか。

町長 不平等とは言えない。総合的な観点から課税されている。

問 中小零細業者の多くが、消費税が転嫁できずに自腹を切っているが。

町長 法律で定められており、支払う義務がある。



高岡 申明 議員

問 町民所得が低い町だが、地元業者が受ける増税の影響をどう考えるか。

町長 増税の影響は全町的に負担が増える。社会保障の財源であり、国の将来、総合的検討がいる。

問 社会保障の充実というが、消費税総額の7〜8割が大企業法人税減税に回っている。どう思うか。

町長 認識している。総合的な税制を検討する必要がある。

町長 輸出大企業は輸出戻し税を払うところが、還付されているが、二重払いを防ぐ税で、問題とは思わない。

問 消費税は地方分配もあるが、町民には全額かかる、どう思うか。

町長 社会保障の充実などの視野に立ち、総合的に考えていくのが政治家の責任だ。

Q 小学校再編時の通学方法は

A 遠距離通学は概ね4km以上だが柔軟に対応

	桑飼	与謝	加悦	岩滝	
S30年度	283	359	645	777	
S60	176	194	424	637	
H26	83	90	178	293	
	石川	三河内	岩屋	市場	山田
S30年度	308	279	216	349	291
S60	215	256	170	245	217
H26	115	108	42	171	90

与謝野町小学校全校児童数の推移

問 町長の学校再編の考えは

町長 教育委員会が策定した基本方針に沿って進めていきたい。

問 通学方法について。

教育長 適正な規模の条件として、概ね4kmという距離があるが、この数値に縛られることなく、児童の安心・安全通学方法について柔軟に対応していく。



有吉 正 議員

問 休校、廃校の違いは。

教育長 学校として使わなくなる。届出をするまでは休校。校舎などを他の用途に活用する場合は、届出をして廃校とすることが必要。

福祉マイクロバス

問 マイクロバスの更新時は、車椅子が昇降できるバスを、100%に近い補助金で購入している市もある。

町長 調べてみる。今後マイクロバスのあり方、行財政改革、公用車更新計画など含めて検討する。

Q 27年度予算編成過程の透明・可視化

A 予算要求段階での全面公開は困難



27年度予算に期待

問 現状は、予算編成権のある行政の意向で編成され、住民はほとんど参画する事なく発表まで係ることができない。編成過程の議論に加わること、住民の要望も予算に反映できると思う。編成過程を議会・住民に公開する動きは全国的に広まるなかで、これを明らかにし、費用対効果の検証が必要である。今回はどこまで開示するのか。



塩見 晋 議員

町長 町会議員の時代から、可視化や透明化が基本的には必要との認識を持ち、補正予算はホームページで公開してきた。当初予算要求段階での全面公開は、多くの作業を限られた人員のなかで行っており、現時点では困難。

学校教育にICT活用

問 学力の向上が認められることが、文科省の「教育情報化推進研究」で示されている。フューチャースクール推進事業などを参考に、25年度以降、全国でタブレットPCなどの導入が進んでいるが。

教育長 費用・管理面など課題もあり、現時点ではパソコン教室で行う。

問 各学校に配備した電子黒板の活用状況は。

教育長 課題も多く、教員のスキルアップが必要となっている。

Q 明日の人材を育てる教育文化施策

A 人権を基本に誇らしいふるさとを育成



知と遊びの館 知遊館

問 基本計画にある「明日の人材」とは「明日の与謝野町の実現に資する人材と言えるが、所感は。

教育長 基本計画に従って一人一人の子供たちに向き合った丁寧な指導ができる施策、体制づくりに努める。

問 教育長が想定される明日の与謝野町社会のかたちは。

教育長 経済的な繁栄に拘らず、心豊かな暮らしができる。



江原 英樹 議員

問 地域コミュニティーを中核とした社会。小中学校の適正配置と地域コミュニティについて。

教育長 与謝野町にある20の地区公民館の機能をさらに活性化することで、地域コミュニティーを今以上に高める。

問 小中校一貫教育について。

教育長 施設一体型の小中一貫教育を目指すのではなく、小中が共通認識をもって連携を推進する。施設分離型の小中連携教育を進める。

問 道徳教育の教科化対策について。

教育長 道徳の時間は道徳教育の要であり子供たちが、生き方について深く考え、道徳的实践につながる授業を展開する。

Q 人口減少対策について

A 人口減少対策に取り組んでいく決意



将来を担う子たち

問 2040年までに自治体全体の約半数にあたる896自治体で、20〜39歳の若年女性人口が5割以上減り、人口回復が困難になると予測している。次のことについては各自治体が積極的に取り組んでいる。「地域おこし協力隊」や「新・田舎で働き隊」行政・ボランティアが婚活支援・少子化対策（子どもの減少を食い止める）本町でも取り組むべきではないか。



河邊新太郎 議員

町長 幸いにも、政府は地方創生と題して「まち・ひと・しごと創生法案」を先の国会で成立、本腰を入れて人口減少問題に取り組む。当町もこの動きに連動して、与謝野町の人口減少対策に取り組んでいく決意。

Q 26年度の歳入歳出と新予算編成

A 10月末現在、町の歳入は順調に推移



トイレ改修始まる

問 国・府からの各種交付金や当町の税収など歳入の現状を問う。現時点でのふるさと納税額、寄付者は何名か。

町長 町の歳入の約半分を占める普通交付税は50億1,399万1千円の交付決定があり、町税は12億6,830万円で昨年同月とほぼ同額で順調に推移している。11月現在で寄付額は124万7千円、23名であり昨年より少し増加している現況である。



藤田 史郎 議員

与謝野町ブランド戦略は

問 町長自ら進める新しい視点での産業振興策は。

町長 現在産業振興会議などで、ものづくりを基軸とした、地域ブランド化を織物業と農業に絞込み、新たな価値を生む施策やプロジェクト

を検討している。

野田川駅トイレ改修は

問 トイレ改修計画はどのようになっているのか。

町長 来年3月末迄には完了させた。バリアフリーの多目的トイレとして整備、さらに洋式化、ウォシュレットの設置や照明の自動化などを計画中である。当初より約470万円増の総額約1,220万円を見込んでいる。

野田川河川敷の整備について

問 6月定例会で質問、雑木伐採の進捗は。

町長 丹後土木事務所、今年度末に発注の準備。

Q 公共施設等総合管理運営を問う

A 民間管理運営も選択肢の一つとする



公共施設白書から見る将来像

問 町には、160以上の公共施設等があるが、施設等としての問題点はどこにあるか。

町長 その数と管理コストにあり、年間約12億円もの経費が掛かっている。更に町営住宅分を加算すると185ほどの施設数になり、経費も1千万円程度増えることになる。将来的コストを考えると直営管理は至難の業であり、町民の共通財産である公共施設を有効活用。行政の力だけでは難



小牧 義昭 議員

しい。

問 運営の面での問題点はどこか。

町長 公共施設の管理運営経費が高まっていることが大きな問題であると考えている。約12億円は一般会計決算の10%を占めていることから、施設の廃止や運営形態を町直営から移行さ

問 せることも考えなければならぬ。公共施設等総合計画を策定している。千葉県習志野市においては公共施設マネジメント白書作成のスタートは、19年度であり、再生計画の策定にあたっては22年にスタートしている。何故こんなにタイムラグがあるのか理解できないが、行政側の責任である。

Q 社会保障制度はどのようにあるべき

A 全ての階層にできる限りの支援が望ましい



更なる福祉の充実を

問 プログラム法案により諸制度の改善が相次いでいる。本年4月からは、消費税が8%に増税をされ、増税分は「社会保障に」とは裏腹に医療・介護・年金・生活保護など、あらゆる分野で社会保障は切り捨てられ、更なる国民への負担増の計画だ。まず、国保では都道府県化により、保険料の値上げにならないよう充分検討願いたい。

町長 不透明なところが多いが、推移を見守る。介護保険の要支援1・2の方が利用している、訪問介護と通所介護を29年度末までに市町村への支援事業への移管を義務付け、低価格なサービスにせざるを得ない。全国の自治体アンケートでは、多くの自治体が



和田 裕之 議員

町長 不透明なところが多いが、推移を見守る。

問 介護保険の要支援1・2の方が利用している、訪問介護と通所介護を29年度末までに市町村への支援事業への移管を義務付け、低価格なサービスにせざるを得ない。全国の自治体アンケートでは、多くの自治体が

福祉課長 今回の改正は、ピンチであり、私自身非常に厳しいと考え、色々と方策を考えていく。特養の入所基準を原則「要介護3」以上に限定となる。要介護1・2でも認知症や介護する人がいないなど様々な現状がある。締め出しなどが無いよう配慮してほしい。

町長 入所判定委員会で状況を勘案し、決定する。

Q 町長の公約と予算編成

A 地方創生支援を申請

とうまの政策
 ■新しい視点で産業振興策を実現し、日本市場だけでなく世界市場も視野に入
 ■観光振興・交流人口事業の促進を
 ちりめん街道活性化行動プログラムや海のするとともに、阿蘇シーサイドパーク周辺の文にあった再開発を行います。
 ■地域密着型の福祉政策を実現し、各事業所と連携しながら介護施策の充実を支援します。
 ■新たな視点での子ども子育て支援

6つの公約新予算へ

問 中央公論に発表された元岩手県知事増田寛也氏のレポートは少子高齢化と一括りにしてはいけません。高齢者も消えていくという人口減社会の現実をつきつけた。与謝野町も地方創生に乗り、地域基盤の再構築が必要だ。

町長 地方創生コンシェルジュ制度には申請した。



勢旗 毅 議員

問 4月の町長選では、いくつかの公約が出されたが、予算編成へどう反映されるのか。

町長 保育料の引き下げについては、子ども子育て会議に諮問している。給与の減額、退職金の返納については、これからの政治状況と関連し

問 全国樺サミットが28年春、与謝野町会場で開催予定だが、この開催目的を今一度確認したい。

町長 地域資源であるツバキを通じて、町を全国に発信することで観光振興と、町民に「滝のツバキ」を町の宝として再認識の契機にしたい。多くの展示や、外国からのメッセも提案したい。

Q 将来に向けた町づくりを

A 国の地方創生法と連動していく



老朽化のため野田川庁舎解体

問 合併以来何ら新規産業の創出企業は進出もなく、ただ8年が経過し現在に至っている。元気な町づくりは、その町に住む人が増加し、いかに幸せを実感し暮らせるかにかかっている。昨年の「日本創生会議」で削減する市町村リスト発表以来、多くの自治体が人口問題に躍起に取り組んでいるなか、来年で合併10周年を迎える我が町が「若者に魅力あるまちづくり」に向け、どのように取り組まれるのか。

町長 政府は地方創生として「まち・ひと・しごと創生法案」を成立させ全力で人口減少問題に取り組んでいる。与謝野町も連動してこの問題に取り組んでいく。町の産業振興会議でも、ものづくりと創造性を機軸にした地域ブランド構想を戦略的に展開することで、産業分野に新たな価値を創



安達 種雄 議員

出し、日本を代表し世界が憧れる魅力ある町づくりを進める方針で、今後の事業計画を協議している。施策や事業を確実に実行していく、若者の心をとらえ「定住人口維持」「若者のインターンUターン」につなげる町づくりを進めていく。

Q 行政運営にも経営感覚が必要な時代

A 行政業務のアウトソーシングもその一つ



経営感覚の自覚

問 行政運営には持続的経営感覚がない、つまり「ノウハウと方法論」によって効率化は図れる。行政業務を民間へアウトソーシングしていくことも考えられるが。

町長 第一次、二次と行革を進め一定の効率化は図っているが、今後の地方交付税の通減、社会保障費の増大に対処するには行政業務のアウトソーシングも1つの方法と考える。



多田 正成 議員

町長 上下水道、衛生プラントなど包括的民間委託導入可能性予備調査を委託し、効率化が図れるかまず予備調査する。

問 行政業務の受け皿として、町の100%出資により、公共団体サポーター会社を設立することも考えられるが。

町長 今のところ時間をかけ慎重にしていきたいと考えている。

問 行政運営全てとは言わないが、施設管理・団体事業・行政業務事業など成果や効果、或いはランニングコストも考える必要がある。行政経費の抑制と、民間への活力に繋がる施策でなければ意味がない。

Q 町の地域経済や集落維持をどうする

A 地方創生法で国・府と取り組んでいく



協働のまちづくり

問 国は「財源がないから」といつて、国民には消費税増税と社会保障の後退を繰り返して、市町村には地方財政をどんどん削減している。これでは地方は衰退するばかりだ。その一方で、285兆円も貯め込んでいる大企業には法人税減税や富裕層への減税を行ない、無駄な大型事業を進めている。■財源がないのではない。日本共産党は、大企業優遇の姿勢を改めれば、財政も景気も良くなるという「消費税に頼らない別の道」を提案して

いる。■全国の地方は、地域経済の不振や少子高齢化、社会保障の後退、地域社会の維持などが危機的状況に直面している。そのため国は急に「地方創生」と言い出した。①町の地域経済と社会保障、集落維持の現状をどう捉え、今後の対策は。②東京一極集中をどう思うか。③地方の疲弊が進んでいるが、



伊藤 幸男 議員

地方財政政策をどう思うか。④安倍政権「地方創生」をどう考えているか。
町長 ①地方創生法で取り組む。②地方疲弊も人口集中も要因と思う。③地方財政が安定する仕組みが必要。④現実に即した有効な取り組みだ。

Q 人口増加策で活力ある町に

A 前向きな姿勢でまちづくりを進める



元気に健やかに

問 全国で人口減少が進んでいる。当町でも18年から2,498人減少している。人口減少には出生から教育・産業振興・生活環境など、多くの問題があるが、交流人口の拡大や、若者に住居・保育料などの大幅な減額や無料化で、若者が定住しやすい政策を打つことで、地域に活力も生まれてくる。人口減少を止めるのではなく、前向きな姿勢で人口増加を考えるべきだ。



宮崎 有平 議員

町長 前太田町長の福祉のまちづくりを継承し「与謝野ブランド戦略構想」や「阿蘇ベイエリア活性化構想」で、雇用創出・活性化を図り、若者の移住促進にも繋がる。人口減少対策に前向きな姿勢で取り組む。

ふるさと納税制度の再構築を
問 ①27年度のふるさと納税をどのように発展させるのか。②選べる特典に「豆っこ米」を加えては。
町長 公共施設で利用できる「ふるさと応援チケット」や広報「よさの」「ありがとう絵手紙」を贈呈している。豆っこ米は、PRにもなるので、27年度からの実施に向けて検討したい。



(平成 27 年 与謝野町消防団出初式 一斉放水)

お詫び

議会だより 34 号 (11 月 25 日発行)にて誤りがありました。

以下のとおり訂正して、お詫び申し上げます。

★P 4 財政ここが知りたい！
地方交付税の推移 (目的別)

誤 「平成 25 年度は地方交付税を 1 人当たり 2 億 3,788 万 1,123 円を国から頂いている。」

正 「1 人当たりおよそ 23 万円を国から頂いている。」

大変申しわけありませんでした。

表紙写真紹介

平成 27 年 与謝野町成人式
(野田川わーくぱる)

昨年の10月から11月に開催した 議会懇談会の報告

= 議会にとって貴重な体験でした。
今後の議会活動に反映させるよう頑張ります =

1 前年までの議会懇談会は全町の11会場でテーマを決めずに行なってきましたが、議会懇談会は町議会基本条例第4条に基づいて行なうものであり、町民にとって緊急切実な町政課題となっている特定のテーマを決めて実施することにしました。そのことから、中心テーマを「小中学校の統廃合問題」と、保育所・幼稚園、いわゆる国の制度改正に伴う「認定こども園問題」とし、その他の意見も聞くことにしました。

10月28日の第1回目は、野田川わーくばるで「小中学校統廃合」問題、10月29日の2回目は、岩滝知遊館で「認定こども園」問題、11月6日の3回目は、加悦元気館で「学校統廃合」問題を中心に、夜7時30分から行ないました。岩滝会場を「認定こども園」としたのは、岩滝幼稚園が耐震診断で改築・改修が急がれている状況にあるためです。



2 今回は3会場で105名もの大勢の参加を頂きました。主な発言は、「学校統廃合」問題では、①統廃合の時期②学校の規模③場所④少人数学級⑤スクールバスなど…、「認定こども園」問題では、①保育料②保育時間③建替え時期④児童館など…、多くの問題で議論がされました。

参加者から指摘や疑問・意見・要望・積極的提案などがたくさん出され、活発な懇談会になりました。その他のテーマでも、「議会へのアンケート」でも、いろんな意見や提案などを頂きました。

3 しかし、参加者の質問などの中で、町理事者が進めようとしている制度上の内容や行政の詳細な情報などについて、不十分な答弁しか出来なかったことがあり、議会への厳しい批判や的確な指摘もありました。議会として、議会懇談会の位置づけが「広聴活動」（広く住民の声を聞き、その内容を議会でしっかりと政策化して、町政に反映させていく）という議会基本条例の理念を深くつかみ、議会全体で十分な認識共有できていなかったことと、私たち議会側の「構え」の弱さがあり、今回の場合、テーマを決めたこともあり、



議会側の準備不足もありました。

参加者に迷惑をおかけしたことは誠に申し訳なく、深く反省をしています。

4 議会にとって、今回の懇談会は、全体として大変貴重な体験であり、同時に、皆さんから頂いた数々の発言に、誠実に向き合い、この教訓を前向きに、今後の議会で活かしていくようにしたいと考えています。

5 最後になりましたが、各区長はじめ、教育・保育関係の保護者、参加頂いた方々や住民の皆さんに、心からお礼を申し上げたいと思います。昨春の改選で7人の新人議員を迎え、議会としての資質向上にも全力で取り組む決意です。つきましては、議会懇談会に限らず、日頃から積極的な意見や提案もお気軽に議会へお寄



せ頂くとともに、私たちの与謝野町をより良くしていくために、従前にも増して、ご理解とご鞭撻、ご協力をお願い申し上げます。

本当にありがとうございました。



《議会への一層のご協力をお願いします！》

▼与謝野町議会では3年前に、住民の皆さんの期待に応えるため、「二元代表制」の1つ、議会として、より開かれた議会、住民参加、住民自治の向上、政策提案できる議会をめざし、議会改革・活性化を進める「議会基本条例」を作りました。

▼この具体的な課題として、議会懇談会の定期開催や議員間の自由討論、議員の研修・学習、各種団体との懇談などを掲げています。

▼私たち与謝野町議会は、まだまだ不十分さもありませんが、議会懇



談会を開き、議会の中では全員協議会で議員間の自由討論も始めています。先にも掲げた課題にも取り組んでいかななくてはなりません。つきましては、住民の皆さんの協力がなければ出来ません。これからも議会活性化に向け頑張ります。

▼今後とも、一層の理解と協力をお願い致します。

議会運営委員会

委員長 伊藤幸男



まちの宝

子どもページ 三河内小学校 の紹介

三河内小学校は、「学力向上システム開発校」として今年度から2年間、授業研究だけでなく学習意欲を高めるための取組を行っています。

1つ目は、「みごちっこちゃんじゃあず」5人組による取組です。子ども達に百人一首や俳句、チャレンジ問題、読書など、学習への興味関心を高めるような仕掛けやチャレンジの働きかけをします。本校職員5人が衣装を着け、役になりきって楽しく働きかけることで、児童たちみんな笑顔の中で「チャレンジしよう」と意欲を高めています。

2つ目は、PTA家庭教育委員による読み聞かせです。土曜授業の朝学習の時間、年3回の読み聞かせをします。1回目は1学期、体育館で全校児童に、絵本をスクリーンに映しながら読み聞かせをしました。お母さんたちの優しく温かな語り、聞く児童や職員もみな温かな気持ちになり、絵本の世界に引き込まれました。3回目は3学期、お父さん方もたくさん読み手としてお世話になる予定です。



町民の広場

与謝野町の未来につながるオリジナルアイデアを募集します!!たとえば、「1人目から子供の保育料を無料にしてほしい」や「与謝野町の特産品を開発したい」というものから、「与謝野町だからこそ可能」な具体的なアイデアまで何でも結構です。町民の皆さんからの様々な建設的なアイデアやご意見をお待ちしております。私たちの住む与謝野町をより明るい、活気のある未来へとつなげましょう。

● アイデア・意見

阿蘇ソーサイトパークがもっともっと楽しく素敵な公園になりますように。

● なんのために

今現在も老若男女を問わず、大人気の公園施設です。観光バスもいっぱい通ります。もっともっと、この公園施設を使って与謝野町を知ってもらいたいです。

● なぜ

管理棟をもっと、有効に使えるんじゃないかなと思います。例えば、日にちを決めてコーヒージョップとか。。。歩道沿いにはプリンターで花いっぱいにしたり。。。シルバーさんだけでなくいろいろな人の雇用も増やせそうです。

● どんな未来が描けるか

天橋立を望むこの公園にもっともっと充実した施設環境がとるといえば、近隣市町からもたくさんの方がこられ、与謝野町の活性化につながると思います。

● 投稿者氏名 ……与謝野町岩滝 / 小室陽子



※お寄せいただきましたアイデア・意見については、町づくりの参考にさせていただきます。

写真募集

議会だよりの表紙に掲載する「写真」を募集しています。掲載の選考は広報委員会です。詳細は議会事務局までお願いします！

編集後記

▼議会だよりの編集も今回で3回目になりました。▼毎回感じますが、原稿を作るのに文字数が決まっております。個人的には内容を第1に考えて、わかりやすい文章を考えています。▼全体の編集に於きましても、皆様によりわかりやすい紙面をいかに委員全員心掛けるようにしています。(記 高岡)

発行責任者

議長 今田 博文

編集

議会広報特別委員会

委員長 和田 裕之
副委員長 小牧 義昭
委員 高岡 仲明
藤田 史郎
宮崎 有平
河邊 新太郎
多田 正成